

平成21年度 第2回OECC研修会開催について
「CDMの現状と今後の展開ーバイオマスを中心に」

京都議定書が定めた第1約束期間は、昨年2008年から2012年までとなっており、現在2013年以降の枠組みについての国際交渉が行われています。日本の数値目標を達成する一手段として、CDM、JI等の京都メカニズムの活用がなされていますが、その現状把握と評価が求められるところです。特にバイオマス分野のCDMでは、途上国の相手企業（カウンターパート）の知見・理解不足、手続の煩雑さやクレジット価格の不透明さ等から、プロジェクト化を見送っているケースも多々あるのが実情です。次期枠組みにおいても、CDMやJIといった市場メカニズムが導入されることが予想されており、今後も引き続きGHG排出削減プロジェクト形成に関するノウハウの蓄積が必要とされています。

こうした背景を踏まえ、下記のとおり第2回OECC研修会を開催いたします。CDMの概観や個別事例、特に成功モデル、非成功モデルを通して、会員・皆さまのCDM事業展開の一助となれば幸いです。

1. 日 時：平成21年10月7日（水） 15：30 ～ 17：30

2. 次 第：

15：30 開 会

15：30 ◆CDM概観（20分）

「CDMの現状とバイオマス分野」

（社）海外環境協カセンター 主任研究員 家本 了誌

質疑応答（10分）

16：00 ◆事例紹介（70分）

「マレーシア・パームオイル工場CDM事業の国連登録までのプロセスと苦労話」

パシフィックコンサルタンツ（株）環境・エネルギー技術本部

地球環境研究所 所長 山田 和人 氏

質疑応答（20分）

17：30 閉 会